

「明るい年になりますように」思いを込めて 海遊館列車の内装を一部リニューアルします

近畿日本鉄道株式会社（大阪市天王寺区）と株式会社海遊館（大阪市港区）は、海遊館の開業 30 周年に合わせて両社の思いを車内外にデザインしたラッピング列車「海遊館列車」（2020年2月28日 発表済み）について、2021年1月14日から内装のデザインを一部リニューアルして運行します。

本列車は、海遊館 30 周年のスローガン「まいにち奇跡。」と近畿日本鉄道株式会社の経営理念“「いつも」を支え、「いつも以上」を創ります。”を掛け合わせ、日常の何気ない移動時間に、海の美しさや生き物の不思議さを感じていただきたいという思いを込めてデザインしました。

本リニューアルでは「共に支え合って生きる大切さ」や「差し込む光に明るい未来を」の思いを込めて「2021年という新たな年が、少しでも明るい一年になってほしい」という願いから、テーマを「ゆらゆら、きらきら」とし、優しい色彩で車内吊り装飾を一新します。

生き物や自然に関する小さな発見を通じ、いつもの移動が心地よい時間としてお楽しみいただけたらと考えています。

詳細は別紙のとおりです。



「海遊館列車」外観

別紙

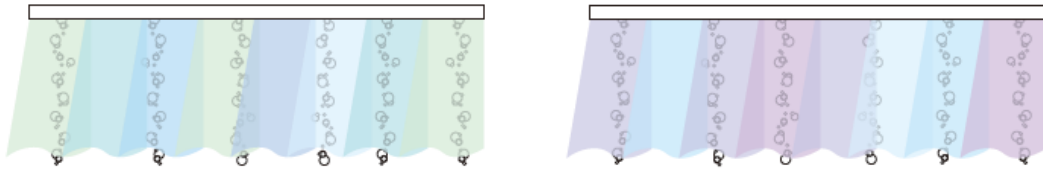
リニューアルのテーマ「ゆらゆら、きらきら」

お客さまの心が癒されたり、少しでも明るくなっていたきたいという思いを込めました。

【今回リニューアルする内装について】

1. 車内吊り①「海中に差し込む光」（3車両に掲出）

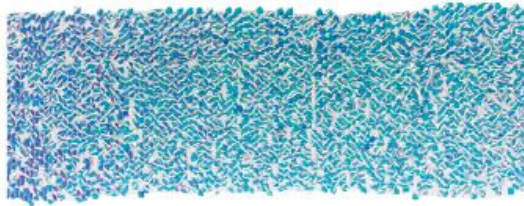
シフォン布とパールを使用し、海中に差し込む光を表現しました。電車の揺れや風によって、シフォンが柔らかく揺れる様をお楽しみいただけます。



グリーン系・パープル系の2種類

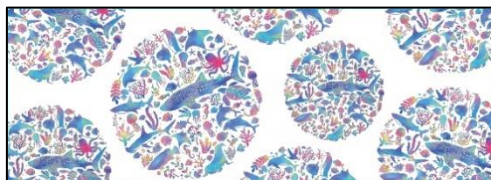
2. 車内吊り②「陽の光に照らされた海面」（3車両に掲出）

見る角度でブルーやピンク、ホワイトに見える偏光スパンコール布を使用し、陽の光に照らされた海面を表現しました。海面を模したスパンコールの奥には、魚たちのシルエット2種を見つけることができます。



3. 車内吊り③「宙に浮かぶくす玉」（全6車両。①、②デザインと交互に掲出）

くす玉が宙に浮かんでいるような気持ち良さ。外観にも用いられているくす玉をイメージしたモチーフを印字。淡い色合いの海の生き物たちが車内を彩ります。

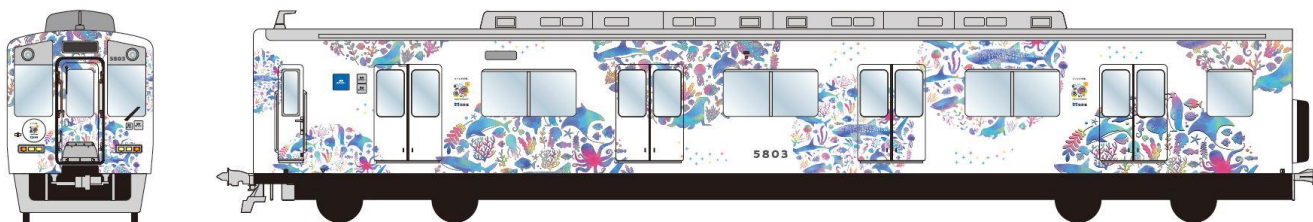


【ラッピング列車「海遊館トレイン」について】

1. 名称：「海遊館トレイン」
2. 運行期間：2020年4月3日（金）から2021年9月まで（予定）
3. 運行区間：近鉄奈良～神戸三宮間
4. 対象列車：5800系6両1編成
5. 特長

（1）外観

海の生き物を淡い色合いで描き、海遊館の開業30周年を祝う“くす玉”の形をイメージしたモチーフを、白を基調とした車体に展開しました。



「海遊館トレイン」外装



“くす玉”の形をイメージしたモチーフ

（2）内装

①ドアまわり

ドアまわりの子どもたちの目線に合わせた高さ、海や生き物に関連するポエムや、くす玉イメージを展開しました。



ドアまわり



ドア周りのラッピングポエム

②ドア横ポスター

生き物の不思議さをお伝えるプチメッセージ、ポエム、海のアート作品などを展示します。海のアート作品は、水の部分はレジン、砂は本物の砂を使用しており、海の青色や波がつくる砂の模様などを一作品ずつ手作りで表現しました。



海のアート作品例

④床面

床面に海遊館の生き物やメッセージを添えたイラストを施しました。

生き物のイラストには、実際の写真から型どりをした足跡が描かれています。



生き物イラストの床面



メッセージイラストの床面

以上